

令和 8 年度 水道事業会計予算基本方針

滝沢市の水道の給水収益は令和 3 年度をピークに減少傾向で推移していましたが、令和 6 年度は前年度並みの料金収入となりました。一方、令和 7 年度の上半期（4～9 月）の給水収益は前年度の同期と比べ▲0.3%であり、過去 5 年間で最も少ない給水収益となっています。

市の人口は今年度に入っても依然として減少傾向にあり、給水収益の減少は今後も継続していくものと見込まれますが、計画値との比較では、第 3 次滝沢市水道事業中期経営計画（前期）における令和 7 年度給水収益の計画値は 834,934 千円であり、現時点において令和 7 年度末の給水収益は計画値を 13,415 千円上回る見込みです（+1.6%）。

【滝沢市の人口の推移】

年度	9 月末人口（人）	前年同月比（人）	前年同月比（%）
令和 3 年度	55,668	144	0.3
令和 4 年度	55,377	▲291	▲0.5
令和 5 年度	54,988	▲389	▲0.7
令和 6 年度	54,505	▲483	▲0.9
令和 7 年度	53,994	▲511	▲0.9

【給水収益の推移】

年度	決算値（税抜）	前年度比（円）	前年度比（%）
令和 3 年度	870,094,041	5,594,683	0.6
令和 4 年度	859,284,059	▲10,809,982	▲1.2
令和 5 年度	850,888,763	▲8,394,296	▲1.0
令和 6 年度	853,549,835	2,661,072	0.3
令和 7 年度（見込）	848,349,479	▲5,200,356	▲0.6

今後も給水収益の減少傾向が見込まれる一方、物価高騰や人件費の上昇等により費用面では増加が見込まれ、以前として厳しい状況が続いています。

第 2 次滝沢市総合計画における都市政策部門として掲げる政策「ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち」及び第 3 次滝沢市水道事業ビジョンにおいて施策目標として掲げる「安心・安全」「安定・強靱」「環境・持続」な水道を実現するため、以下の方針、ポイントを踏まえて令和 8 年度の予算を編成し事業を進めていきます。

- ・市の人口や水道使用量の推移、社会情勢の変化・予測を考慮した給水収益の見積精査
- ・給水収益、物価上昇等に配慮した上で、適切で効果的な施設整備・更新事業、維持管理事業の実施

令和8年度の主な事業

【安心・安全】安心して飲むことができる安全な水道

■一本木水源関連施設整備

- ・一本木水源（柳沢大湧口）の連絡管整備

■水源保全施策の実施

水道水源保護条例に基づき事業を実施します。

- ・市所有の水源涵養地の維持管理（除草・間伐等）
- ・水源保全用地の取得について検討します。
- ・水道水源保護区域内における浄化槽設置整備事業費補助金の交付

■水質管理の徹底

水質検査計画に基づき水質検査を実施し、安全でおいしい水の供給を図るとともに、引き続き水源監視体制の徹底を図ります。

- ・定期水質検査、臨時水質検査
- ・令和8年度水質基準項目に義務化されるP F O S及びP F O Aに対応しています。
（浄水の各配水系統一か所で年4回、全原水で年1回）

■滞留水排水の強化

各配水系の境界、末端給水箇所など水道水が滞留しやすい箇所の排水を行い、安心安全な水道水の供給に努めます。

- ・消火栓、ドレンによる定期的な滞留水排水の実施

■適正な水圧管理の維持

減圧弁の維持管理を適正に行い、利用者が快適に使えるよう、配水管の水圧を適正に保ちます。

- ・減圧弁保守点検の実施

【安定・強靱】安定した給水を実現する強靱な水道

■水道施設改良更新事業

基幹水道施設の更新を行います。

- ・電気・計測機器等更新 一式

■配水管整備事業

経年管のうち漏水事故の多いビニール管を中心に耐震管へ布設替えを進め、断水事故を減らし、水資源の有効利用に努めます。

- ・ビニール管の耐震管への布設替え
- ・道路改良事業等に合わせたの事業費の抑制
- ・配水管布設替工事 2,000m

<管路耐震化率>

年 度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
配水管 (%)	35.9	36.5	37.0	36.5	37.5
	36.4	36.7	36.7	—	—
幹線 (%)	27.1	27.1	27.1	27.1	27.1
	27.4	27.7	27.7	—	—

※配水管は、導水管・送水管を除く。幹線は導水管・送水管及びφ200以上の配水管とする。

<経年管更新率>

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値 (%)	1.0	1.0	1.0	1.0
実績値 (%)	0.6	0.3	—	—

■漏水対策事業

- ・漏水調査委託 390km
- ・漏水発見後の迅速な修理 発見箇所数

<有効率>

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値 (%)	93.4	93.4	93.4	93.4
実績値 (%)	94.3	93.5	—	—

【環境・持続】環境に配慮した持続可能な水道

■顧客サービスの向上

- ・水道中期経営計画（後期：令和10年度～令和14年度）策定へ向けた水道に関するアンケートの実施による利用者ニーズの把握と分析
- ・上下水道広報誌「ちゃぐ水だより」の発行（年2回）、ホームページの随時更新による利用者への適切で効果的な情報発信

■環境対策の推進

- ・汚泥や建設副産物の適正な処理に努めます。
- ・浄水場の適正な運転管理を行い、すべての配水池からの自然流下での給水を維持し、水の位置エネルギーを有効活用、省エネルギー化に努めます。

■財政の健全化

- ・水道施設更新計画の策定に合わせた財政シミュレーションの実施
- ・料金徴収業務委託の継続による目標過年度分収納率99.98%の達成

<過年度分収納率>

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(%)	99.98	99.98	99.98	99.98
実績値(%)	99.98	99.99	—	—

■人材育成と組織力の強化

- ・技術系職員の継続的な確保と知識・技術の継承
- ・積極的な研修の受講による効果的な人材育成

■官民連携・広域連携の推進

- ・料金徴収業務の業務委託継続及び次期料金徴収業務委託への移行
- ・水道施設運転管理業務の業務委託継続
- ・日本水道協会や県等が開催する合同訓練への参加
- ・県が主導する水道事業広域連携検討会における広域連携についての継続的な検討